

21	森林減少と砂漠化	学習日	月	日	名前：
----	----------	-----	---	---	-----

教科書 p 126～

森林の役割

- ・ 生物のすみか → 生物の（1）を確保するためには必要
- ・ 二酸化炭素を吸収し、酸素を排出 → （2）を防止
- ・ 森林から木材を得る
- ・ 雨水を蓄え、洪水を防ぐ → 「（3）」

1. 森林の減少

以上のようなさまざまな役割を持つ森林の面積

（4）が熱帯林、（5）が亜寒帯林、温帯林が（6）

熱帯林の減少

1960年から1990年の30年間の熱帯林の減少

（7）で30%

（8）と（9）でそれぞれ18%

現在も熱帯林の減少は続いている

原因

（10）の拡大 → 油ヤシなどの栽培を行うため

（11）利用の増加 → 途上国での人口増加が原因

過度な商業伐採

影響

森林の面積減少・森林の断片化・森林の孤立化

→ （12）の増加、（13）の進展、生物の種の絶滅

対策

木材伐採を減らす → 持続可能な森林資源の利用、不正輸出入の取り締まり

（14）の実施

（15）... 森林を保護しながら農業を行う

2. 砂漠化

気候変動や人為的な要因で土地が砂漠化してしまう（＝ 植生がなくなる）こと

有名な例

① アフリカのサヘル

サハラ砂漠の周辺（特に南側）を（16）と呼ぶ、現在砂漠が広がっているところ

サヘルは熱帯地方なので、冬季に乾燥・夏季に湿潤な気候となる

→ 夏に草が生えてくることで草原となる（ステップ）

しかし、1960年代から1980年代にかけて（17）が続いた

→ 夏季に草が育たなかった

→ 牧畜地帯なので、羊やヤギが草を食べてしまった

（土地の保水力がなくなることで、地面が乾燥してしまう）

② アラル海

中央アジア、カザフスタンとウズベキスタンに広がる塩湖

かつては世界第4位の湖だった

1950年代から周辺で綿花栽培を行うための大規模（18）工事が行われた

→ 年数十センチ単位で湖水が低下

→ 湖の塩分濃度が上昇、塩害が起こる。周辺住民に健康被害も起こる

→ 湖は分裂

※ ソビエト崩壊後、アラル海の再生が目指される